

別記様式第 1 号 (第 8 条関係)

令和 7 年 3 月 3 1 日

朝日町議会議長

阿 部 為 吉 殿

氏 名 長岡 裕二

令和 6 年度政務活動費に係る収支報告について

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第 8 条第 1 項 (第 2 項) に基づき、別紙のとおり、令和 6 年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和 6 年度政務活動費収支報告書

氏 名 長岡 裕二

1 収 入
政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位: 円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	93,800	吉田タクシー63,000 (有)ユアー・トラベル30,800
研修費	30,000	地方議員研究会2/22
合 計	123,800	

注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

領 収 証

長岡裕二

様

No. _____

金 額

¥63000

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但

2/21~2/23分

R7年2月19日 上記正に領収いたしました
山形県西村山郡朝日町大字宮宿1159

吉田タクシ

吉 田 好 伸

TEL0237-67-3131

登録番号 登録番号T5810918938374

GR095224

領 収 証

長岡裕二

様

No. _____

★

¥30,800-

但 研修旅行代

2025年2月14日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 ¥28091-

消費税額等(0%) ¥2709-

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

有限会社 ユアー・トラベル

山形県寒河江市緑町46番地

山形県知事登録旅行業第2-216号

代表取締役 荒木直史

TEL0237-83-1331

T1390002015832

領 収 証

2025 年 2 月 22 日

長岡裕二

様

★

¥30,000

但 2/22 10時~ 予算質疑特別講座①

2/22 14時~ 予算質疑特別講座②

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678



令和 6 年度政務活動報告書

長岡裕二

令和 7 年 2 月 21 日～23 日迄

2 月 21 日

東京三軒茶屋

山形県河北町アンテナショップ「かほくらし」の訪問

訪問の最初の目的地は、東京三軒茶屋にある山形県河北町のアンテナショップ「かほくらし」でした。このショップは、地域資源や特産品を都市部の消費者に直接届けるという重要な役割を果たしています。店内に入ると、地元の産物や手工芸品など、河北町の特色を生かした商品が並んでおり、訪れる人々に地域の魅力を感じさせる工夫が随所に見られました。特に印象に残ったのは、季節柄少なかったものの、地元の農家が栽培した新鮮な農産物、特に野菜が取り扱われている話で、こうした商品を通じて河北町の「食」の魅力を広める努力を強く感じました。また当町の「りんご」「はけご」などぜひ供給してほしい旨をショップスタッフから強く求められ、繋がりができればと名刺交換してきました。

ショップスタッフとの会話を通じて、アンテナショップの役割の重要性が再認識されました。都市部に住む消費者に対して、単に商品売るだけでなく、地域の魅力や特性を伝え、地域の文化や風土に触れてもらうことが重要だと感じました。また、これが地域振興の一環として、地域の知名度向上や観光誘致につながることを期待されるが、朝日町はどうか？現行政下では難しいだろう。

2 月 22 日

新宿での「予算質疑特別講座」受講

翌日は、新宿で開催された地方議員研究会主催の「予算質疑特別講座」に参加しました。この講座は、地方自治体における予算編成や質疑の進め方についての実務的な知識を深める貴重な機会でした。講義内容は非常に具体的で、地方自治体がどのように予算を立て、予算に基づいて行政活動を進めていくのか、また予算に関する質疑を通じて議会と行政がどのように連携するのかを学ぶことができました。

特に興味深かったのは、当町と類似団体との比較や予算案に対する質疑の際の具体的な事例と、予算をどのように透明性高く町民に説明していくべきかという点です。地方自治体の予算には限りがあり、どの分野にどれだけの予算を割り当てるかという決定は非常に重要です。質疑の過程で、議員がどのように町民のニーズを反映させるか、また行政がどのように議会に対して説明責任を果たすかが問われます。これらは予算審査特別委員会や自分が地域活動に携わる中で、非常に役立つ知識となると感じました。

2月23日

茨城県御前山青少年旅行村にてコテージ見学

帰路の途中、茨城県の御前山青少年旅行村に立ち寄り、コテージを見学しました。この施設は、自然に囲まれた場所にあり、地元住民や観光客にとってリラックスできる環境を提供しています。コテージは築30年を超える建物で劣化が激しい部分も見受けられるものの、施設内にはキャンプやバーベキュー、ハイキングなど、地域の自然を満喫できるアクティビティが整備されており、ここでの宿泊は都市部の日常から離れて心身をリフレッシュできる素晴らしい機会となることを感じました。

また、御前山青少年旅行村が地域振興や観光資源の開発において果たしている役割と、こうした施設が地域の経済や観光業の活性化にどれだけ寄与しているか、改めて地域づくりの重要性を実感することができました。

総括

今回の訪問と学びの経験は、地方自治体の運営や地域振興の重要性について深い洞察を得る貴重な機会となりました。アンテナショップでの地域資源の発信、予算質疑特別講座での予算編成の実務、そして御前山青少年旅行村での地域振興の実例に至るまで、地方自治体が抱える課題やその解決策について多くのことを学びました。これらの経験を今後の地域活動や政策立案に活かしていきたいと強く感じた3日間でした。